

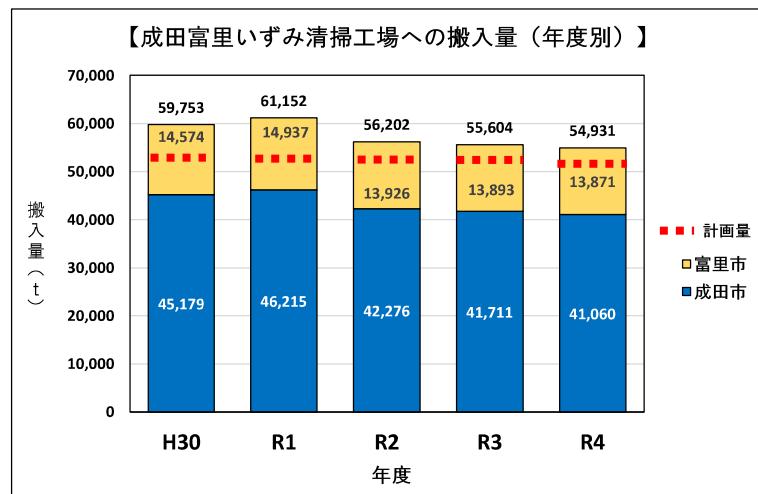


# 成田市のごみの状況について

## ○成田富里いずみ清掃工場の現状

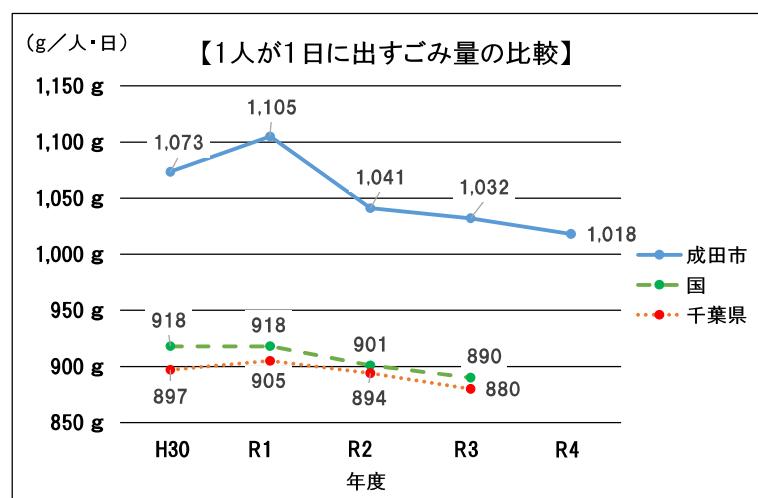
成田富里いずみ清掃工場における令和4年度の処理計画量は約 52,000 トンですが、実際のごみの搬入量は 55,000 トン近くになります。

処理計画量を超えた約 3,000 トンのごみは、外部の処理施設にて処分しており、その処理には約 1 億円かかっています。市ではこの費用を削減するため、ごみの減量に取り組んでいます。



## ○全国との比較

令和4年度に成田市内から出たごみの量は、1人1日あたりに換算すると1,018 gになります。右図のとおり、ゆるやかな減少傾向にありますが、全国や千葉県全体と比較すると、かなり多い状況が続いているです。



※令和4年度の国及び千葉県のデータは現時点で未発表のため掲載していません。

## ○可燃ごみの内訳

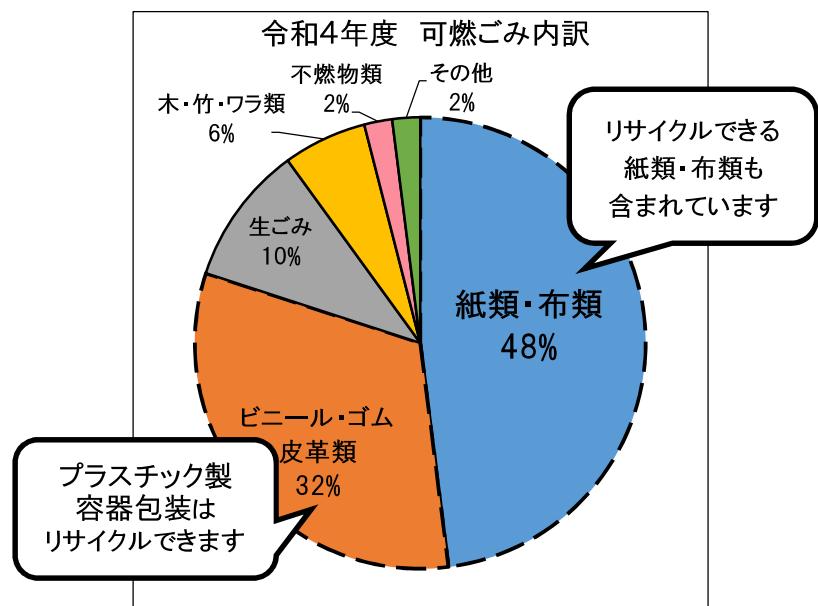
右の円グラフは、成田富里いずみ清掃工場に搬入された可燃ごみの内訳です。

半数近くを占める紙類・布類にはリサイクルできる古紙や古着が多く含まれています。

また、3割以上を占めるビニール類にも、リサイクルできるプラスチック製容器包装が含まれています。

つまり、多くの資源物がリサイクルされずに、ごみとして処理されてしまっています。

適正な分別を徹底すれば、現状の可燃ごみの量を大きく減らすことができます。



そのためにも、市民の皆様一人ひとりが成田市の分別ルールを守っていただくことが大切となりますので、今後ともご協力をお願いします。